

多久聖廟で秋季釈菜

10/24[Sun]

佐賀県重要無形民俗文化財の「秋季釈菜」（主催：公益財団法人孔子の里）が、多久聖廟で開催されました。

新型コロナウイルスの感染状況が改善したことを受け、1年半ぶりに通常通りの儀式が執り行われたほか、伶人による雅楽の演奏も披露。聖廟内に厳かな音色が響き渡りました。

式典後にはイベント広場で「釈菜の舞」「参列生徒の唱歌」「花棒舞」「孔子の里腰鼓」「孔子の里獅子舞」が行われ、見物客の多くがカメラやスマートフォンを手に楽しんでいました。



同日開催

多久百景写真コンテスト表彰式



▲横尾俊彦市長（右から3人目）と受賞者のみなさん

第5回多久百景写真コンテスト表彰式（主催：公益財団法人孔子の里）が多久聖廟で開かれました。

多久の四季・伝統文化・歴史をテーマに行われてきたこのコンテストは今回で終了。最後のグランプリに輝いた伊藤方子さんは「受賞できて本当に嬉しいです。多久百景を機に、多久の良いところを多くの人に見てほしいですね」と受賞の喜びを話されました。

コンテストの受賞者は次のとおりです（敬称略）

グランプリ	伊藤方子（多久町）
準グランプリ	藤松政晴（白石町）
特別賞	絹川政憲（福岡県小郡市） / 井上郁子（多久町）
	山田 力（東多久町）

4年目の「多久酒」仕込み開始

10/31[Sun]

多久を魅力あふれる町にするために活動する市民団体「多久未来プロジェクト」が手掛ける純米大吟醸酒「多久」の仕込みが、東鶴酒造株式会社（東多久町）で始まりました。

当日は13人のメンバーが集まって仕込み作業を実施。蒸した米300kgをほぐして冷ました後、雑味が出ないように氷で冷やした発酵用タンクに注ぎました。

東鶴酒造（株）の野中保斉社長は「多久酒は甘口の優しい味わいとフルーティーな香りが特徴です。市民のみなさんにおいしく飲んでいただけるよう心を込めて作りますので、ぜひ味わってみてください」と笑顔で話されました。

純米大吟醸酒多久の新酒は12月12日(日)13時から東鶴酒造で販売開始されます。



▲力を合わせて酒づくりを行う多久未来プロジェクトのメンバー